



1

2

3

4

資料 1-1-4

## 原子力災害時の輸送能力の確保について

平成 28 年 5 月 23 日

鳥取県危機管理局原子力安全対策課

輸送手段の確保に関しては、第 7 回作業部会（H27. 11. 10）において取組状況及び課題を説明したところであるが、昨年度 2 県 6 市で実施した「避難行動要支援者の実態把握調査」及び米子市、境港市が実施した在宅の避難行動要支援者の調査、医療機関、社会福祉施設を対象とした調査結果に基づき必要台数等を取りまとめたところ、次のとおりであった。

これら調査結果に基づき、現時点における住民避難の運用を検討したところであり、さらに課題・問題点等を抽出するとともに、安全かつ確実な住民避難の実施にむけて運用を含めた体制について検討を行っていく。

引き続き、県内・県外（国の実動機関やバス協会等）からの輸送手段の確保及び要請スキームの確立に向けて取り組んでいくとともに避難行動要支援者に関する調査を今年度も実施し、反映させていく。

## 1 輸送能力の確保に関する基本的な考え方

- (1) 鳥取県広域住民避難計画（島根原子力発電所事故対応）に基づき、鳥取県内の U P Z 全域に避難指示がなされた場合において、段階的避難を実施することにより避難退指示後 20 時間で U P Z 外に避難を完了するために必要な輸送能力を確保する。
- (2) 本県の避難計画では、U P Z 全域で避難を行うという厳しい条件を想定していることから、O I L に基づく一時移転及び避難指示エリアを特定した避難に関しても、この考え方を適用する。
- (3) U P Z 外に避難指示がなされる場合においても、現行の避難計画をベースとして拡張し対応を行う。
- (4) 計画の想定を超える災害が発生し、避難計画の運用を超える対応が必要となる場合は、実動機関等に対して支援を要請し避難を行うことから、そのスキームを事前に検討しておくものとする。

## 2 必要車両数の積算

### (1) 積算にあたっての本資料での考え方

- ア 自家用車避難者の割合は 90% とし、その他住民は県が手配するバス等の準備車両により避難を行うものとする。
- イ バス 1 台あたりの乗車人数は、25 名とする。
- ウ 福祉車両（車椅子、ストレッチャー仕様）は、1 台あたり 1 名の乗車とする。
- エ 社会福祉施設（高齢者、障がい者）については、各施設が避難計画において予め定めている必要台数を手配する。（県がバスを手配し、施設はその他車両を手配する）
- オ 放射線防護対策を講じた施設については、7 日間の屋内退避期間があることから本積算から控除する。

(2) 対象者数の内訳及び必要車両数 (UPZ全体)

ア 対象者数

(単位：人)

区分	バス・ 一般住民 (25人/1台)	バス又は自 家用車・ 要支援者	車椅子仕様 車両 (1人/1台)	ストレッチ ャー仕様 (1人/1台)	放射線防護 対策施設で の屋内退避
一般住民 (68,049名)	1,468	—	—	7,397人 (UPZの10%)	
在宅の要支援 者 (6,455名)	—	5,929	279	247	—
医療機関 (259 名)、施設入所 者 (1,232名)	—	438	553	171	329
合計			832	418	329

イ 必要車両数

(単位：台)

区分	バス	車椅子仕様 車両	ストレッチ ャー仕様
必要車両数	374	832	418
(内訳)	県手配	374	315
	施設手配	—	103

(3) 鳥取県内のUPZで段階的避難 (4段階) を行う場合の区域別人数

ア 在宅の避難行動要支援者 (6,455人)

車両区分	人数 (段階的避難 (4段階) を行う場合の区域別人数)
バス	合計 5,929人 (鳥取①691人、鳥取②1,063人、鳥取③1,227人、鳥取④2,948人)
車椅子 (UPZ外推 計台数 480台)	合計 279人 (鳥取①31人、鳥取②49人、鳥取③65人、鳥取④134人)
ストレッチャー (UPZ外推 計台数 84台)	合計 247人 (鳥取①26人、鳥取②29人、鳥取③59人、鳥取④133人)

イ 医療機関 (259人)、社会福祉施設 (1,232人) 入所者

車両区分	人数 (段階的避難 (4段階) を行う場合の区域別人数)
バス (438人)	438人分の車両手配が必要 (県内で全て手配可能) (鳥取①50人、鳥取②88人、鳥取③65人、鳥取④235人)
車椅子仕様 (553人)	91人分の車両手配が必要 (462人は施設で手配可能) (鳥取①0人、鳥取②78人、鳥取③0人、鳥取④13人)
ストレッチャー仕様 (171人)	68人分の車両手配が必要 (103人は施設で手配可能) (鳥取①0人、鳥取②59人、鳥取③0人、鳥取④9人)

※このほか 329人は放射線防護対策施設で屋内退避を実施  
(鳥取①70人、鳥取②64人、鳥取③0人、鳥取④195人)

### 3 バスの確保

#### (1) 鳥取県内の保有状況、調達可能台数

区分等	貸切バス	乗合バス
保有台数	221台	316台
調達可能台数	221台	0台

#### (2) OILに基づく対応

ア OIL2の場合の対応（1週間程度内に一時移転）

県内で確保可能

イ OIL1の場合の対応

県内で153台不足するため、関西広域連合及び中国地区各県のバス事業者に対して、バス派遣を要請。

#### (3) 現状及び今後の対応

- ・H27.12.2「大規模広域災害時におけるバスによる緊急輸送に関する協定」を締結（福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、関西広域連合及び各府県バス協会）
- ・県と県バス協会、ハイヤータクシー協会との協定締結に向けて協議中
- ・中国地方のバス協会との協定締結に向けて、島根県及び関係先等と協議中

### 4 福祉車両の確保

#### (1) 鳥取県内の保有状況（UPZ外の推計）

区分等	車椅子仕様	ストレッチャー仕様
保有台数	480台	84台

#### (2) OILに基づく対応

ア OIL2の場合の対応（1週間程度内に一時移転）

ア) 車椅子仕様及びストレッチャー仕様の車両

- ・県内にある車両を集中的に投入することで段階的避難が可能

イ OIL1の場合の対応

ア) 車椅子仕様

- ・県内にある車両を集中的に投入することで段階的避難が可能

イ) ストレッチャー仕様の車両

- ・一般住民と同様に20時間で避難を行うためには、県外からの支援が必要

#### (3) 現状及び今後の対応

- ・県内における福祉車両の保有状況について調査を実施する。
- ・福祉車両の確保、手配に向けて県内の関係機関（タクシーハイヤー協会、社会福祉協議会、社会福祉施設等）と調整を行う。

### 5 その他

避難行動要支援者に関する調査を今年度も実施し、調査の精度を向上させるとともに車両の必要数等について反映させていく。

(参考：平成 27 年度避難行動要支援者に係る調査結果の概要)

## 1 避難行動要支援者数

区分	人数	詳細
医療機関入院患者 (2 病院 2 診療所)	259 名	一般病床 202 名 療養病床 57 名
社会福祉施設入所者 (5 5 施設)	1, 232 名	高齢者施設 1, 013 名 障がい者施設 219 名
在宅の避難行動要支援者 (米子市、境港市)	6, 455 名	米子市 3, 938 名 境港市 2, 517 名
計	7, 946 名	

## 2 移動手段別

上段の ( ) は放射線防護対策施設での収容可能数 (外数)

区分	人数	詳細
ストレッチャー (医療装置付き) による避難が必要な者	(39 名) 74 名	病院・診療所 35 名 高齢者施設 78 名
ストレッチャー仕様が必要な者	(35 名) 344 名	病院・診療所 97 名 高齢者・障がい者施設 35 名 在宅 247 名
車イス仕様が必要な者	(194 名) 832 名	病院・診療所 91 名 高齢者・障がい者施設 656 名 在宅 279 名
乗用車、大型バス等で避難が可能な者	(61 名) 6, 367 名	病院・診療所 36 名 高齢者・障がい者施設 463 名 在宅 5, 929 名
計	(329 名) 7, 617 名	

出所：医療機関、社会福祉施設  
在宅

各施設を対象とした調査 (H27. 6. 1 現在) 結果  
平成 27 年度米子市、境港市取りまとめ結果

### 3 段階的避難（4区分）別の避難行動支援者数（避難手段別）

（単位：人）

区分		小計	避難にあたり必要となる車両種別				
			ストレッチャー（医療装置付）	ストレッチャー仕様	車いす仕様	大型バス等	
鳥取①	避難行動要支援者数		877	0	28	108	741
	内訳	放射線防護対策施設での屋内退避者数	70	0	2	68	0
		施設車両での避難者数	9	0	0	9	0
		県手配車両での避難者数	798	0	26	31	741
鳥取②	避難行動要支援者数		1,636	85	132	268	1,151
	内訳	放射線防護対策施設での屋内退避者数	64	32	32	0	0
		施設車両での避難者数	206	50	15	141	0
		県手配車両での避難者数	1,366	3	85	127	1,151
鳥取③	避難行動要支援者数		1,583	9	72	210	1,292
	内訳	放射線防護対策施設での屋内退避	0	0	0	0	0
		施設車両での避難者数	167	9	13	145	0
		県手配車両での避難者数	1,416	0	59	65	1,292
鳥取④	避難行動要支援者数		3,850	19	147	440	3,244
	内訳	放射線防護対策施設での屋内退避	195	7	1	126	61
		施設車両での避難者数	183	12	4	167	0
		県手配車両での避難者数	3,472	0	142	147	3,183
合計	避難行動要支援者数		7,946	113	379	1,026	6,428
	内訳	放射線防護対策施設での屋内退避者数	329	39	35	194	61
		施設車両での避難者数	565	71	32	462	0
		県手配車両での避難者数	7,052	3	312	370	6,367